

当院での妊婦検査の説明書

妊娠おめでとうございます。以下の表はあなたと赤ちゃんのために受けていただきたい検査とその内容です。検査について疑問や不明な点がある場合は遠慮なく申し出てください。また、希望されない検査についても遠慮なく申し出てください。

検査の結果については本人のみに報告し、秘密は厳守されます。

母子手帳の交付を受けられた方については検査の一部は公費負担が可能となります。

| 検査時期 | 検査項目 | 検査の説明 |
|--------|---------------------|--|
| 初診時 | 子宮頸癌検診 | 細胞診による子宮癌検診です。 |
| | クラミジア検査 | 正常妊娠が確認されましたら、検査します |
| 採血時は毎回 | 貧血検査 (白血球数を含む) | 貧血の有無や炎症性疾患、出血傾向の目安となります。 |
| 妊娠前期 | ABO 式 RH 式血液型 | 血液型不適合妊娠の有無のチェックを行います。また、分娩時の大量出血などに備えて血液型の検査は不可欠です。 |
| | B 型肝炎検査 | お母さんが B 型肝炎ウイルスに感染している場合、赤ちゃんに感染することがあります。予防接種により出生後の感染を防ぐことができます。 |
| | 梅毒反応 | 母子保健法で義務づけられた検査です。早期発見で治療を行えば赤ちゃんへの感染を防ぐことができます。 |
| | C 型肝炎抗体 | C 型肝炎ウイルス感染の有無をチェックします。 |
| | ATLA 抗体検査 | 成人 T 細胞性白血病の検査です。陽性の場合母乳感染を起こすことがあります。 ※お母さんが希望される場合のみ実施します。 |
| | 不規則抗体検査 | お母さんが不規則抗体を持っていると赤ちゃんが重症黄疸を起こすことがあります。 |
| | 羊水染色体検査 | 5 ヶ月頃に羊水を採取して、赤ちゃんの染色体異常の有無を調べます。※お母さんが希望される場合のみ実施します。 |
| | 風疹抗体検査 | 妊娠初期に風疹により胎児に先天性の異常を来すことがあります。※お母さんが希望される場合のみ実施します。 |
| 妊娠中期 | HIV 検査 | エイズウイルス検査です。 ※お母さんが希望される場合のみ実施します。 |
| | 肝臓・腎臓機能検査 血糖値の検査 | 肝臓・腎臓の機能検査や妊娠糖尿病の検査です。妊娠中毒症の早期発見やお母さんの健康状態を総合的に判断します。 |
| 妊娠末期 | 細菌培養検査 | 妊娠 8 ヶ月頃に腔内の細菌を検査し、分娩時、赤ちゃんに感染症を引き起こす細菌がないか調べます。 |
| | 血液凝固検査 | 出産時の出血に備えた検査で、出血を止めるための各因子の検査です。 |
| 妊娠全期間 | 胎児心拍モニタリング | 子宮の収縮の状態や赤ちゃんの心拍数を見る検査です。赤ちゃんが元気であることを確認します。(約 40 分かかります) |
| | 超音波検査 | 赤ちゃんの発育状態や種々の異常がないか検査します。 超音波の画像は DVD・ビデオ撮影できます |

妊婦検診スケジュール

1) 妊娠初期

妊娠 10 週頃までは 1 ～ 3 週間毎に通院していただきます。

初診時より経膈超音波検査にて子宮内妊娠、胎児発育の確認の他、卵巣腫瘍や子宮筋腫の有無の検査を行います。また、妊娠 8～10 週頃に胎児の大きさを測り分娩予定日を決めます。（排卵日のずれによる妊娠週数の補正を行います）

2) 妊娠 4 カ月～6 カ月（12 週～24 週）

妊婦検診は妊娠 12 週～24 週までは 4 週間毎です。

母子手帳の交付を受けていただき、妊婦検診となります。

妊娠 12～20 週頃までに各種血液検査を実施します。（別表参照）

また、当院の助産婦が面接致しますので、妊娠に関する不安や質問などありましたら、遠慮なく申し出てください。

妊娠 6 ヶ月頃、経膈超音波検査で早産兆候の有無や胎盤の位置等について検査します。

3) 妊娠 7 カ月～9 カ月（妊娠 24～36 週）

現在の少子化を考慮し赤ちゃんと母体をより細かく観察し、早産等の異常の早期発見を目的として厚生省より妊娠 24 週（7 カ月）から妊婦検診は 2 週間毎に改訂され、当院でも平成 11 年 5 月より実施しております。

この時期は主に胎児発育と子宮収縮を観察します。胎盤の位置異常なども妊娠 24 週（7 カ月）頃からわかります。赤ちゃんの性別もはっきりわかるでしょう。

妊娠 9 ヶ月で帯下（おりもの）検査によりお産の時に心配な細菌がないかどうかチェックも実施します。

※ 内診は早産の早期発見に有用と考えられていましたが、逆にバイキンを膈内に侵入させる恐れもあると最近では言われています。従って当院では、必要な場合を除いて内診を検診毎には実施しません。妊娠 20 週と 30 週の内診や超音波検査で充分と考えています。

※ 当院では患者様の分娩や産褥・授乳のスタイルに関する希望を取り入れられるようバースプランを助産師と面接を行い計画していただきます。少し時間をかけて面接時間を予約しますので、希望などありましたら、遠慮なく申しつけください。

血液検査は妊娠 8 カ月（28～32 週）に貧血検査と肝機能や腎機能の検査を実施します。安産教室は妊娠 9 カ月（32～36 週）の方を対象に実施しています。小児科医師によるプレネイタルヴィジットを始め、分娩に向けた指導などが助産婦、栄養士よりあります。妊娠経過や分娩に対する不安解消のお手伝いできれば幸いです。

4) 妊娠 10 カ月 (妊娠 36 週) 以降

毎週妊婦検診を実施します。

胎児心拍モニタリング (EFM) ; 妊娠 36 週以降必要に応じて実施します。

この検査はお腹に細いベルトを巻いて子宮収縮の様子と胎児心音を約 40 分間チェックする検査です。赤ちゃんの元気具合を確認するのに最も有効な検査です。

血液検査 ; 妊娠 36 週頃に貧血の検査を行います。

超音波検査も毎回実施します。赤ちゃんの推定体重や羊水量を検査します。

予定日を過ぎた方は少なくとも週 2 回通院して頂きます。超音波検査と EFM (約 30 分) でより細かく母体と赤ちゃんを観察します。

5) 妊娠 42 週以降

妊娠 42 週以降では胎盤機能も著明に低下しますので、赤ちゃんのためにも入院をお勧めします。分娩時期や分娩誘発剤使用については担当医師と納得ゆくまで話し合ってください。

私たちはお母さんにご主人がリラックスできる環境の中で分娩に臨んでいただきたいと考えています。気に入った音楽を聴いたり、ご主人に立ち会っていただくことも可能です。その他の希望につきましてもできる限り協力させていただきます。妊娠や分娩が皆様にとって安心してのぞんでいただけるよう、スタッフ一同精一杯協力させていただきます。



下関市立済生会豊浦病院 産婦人科 スタッフ一同

入院期間

分娩後 5 日目(帝王切開の場合は 7 日目)の診察後、いつでも退院可能です。

赤ちゃんも生後 5 日目に小児科の先生の回診の後、退院できます。

退院時に赤ちゃんとお母さんの 1 ヶ月検診の予約を忘れないようお願いいたします。

1 ヶ月検診は火曜日の午後に赤ちゃんとお母さんと一緒に検診します。

分娩費用は約 300,000~330,000 円 (消費税込) となっていますが、出産時間や分娩様式により料金は若干異なりますのでご了承ください。

検診に関する疑問や要望がございましたら、遠慮なくスタッフまで申し出ください。